

経済学

講師	経済学部 教授 狐崎知己
時間割	1 時限
教室	10 号館 2 階 10201 教室
テーマ	途上国の開発と日本の協力
講義内容	世界の貧困問題の現状を概観したのち、日本の国際開発協力(ODA)の成果と課題をメキシコやグアテマラの事例にもとづいて解説します。 開発経済学や国際協力論などに興味をもつ学生への入門講座となります。

講師	経済学部 准教授 石原秀彦
時間割	1 時限
教室	10 号館 2 階 10202 教室
テーマ	お金って何？
講義内容	みなさんは「お金って何？」と聞かれたらどう答えますか？ いつも使っている身近な存在にもかかわらず、その正体をはっきり答えられる人は案外少ないのではないのでしょうか？この講義では、古代ギリシアの哲学者アリストテレス以来数多くの研究がなされている「お金って何？」という問いに、世界各地の貨幣の起源や、過去の様々な研究を紹介しながら迫ってみたいと思います。

講師	経済学部 教授 宮本光晴
時間割	2 時限
教室	10 号館 2 階 10201 教室
テーマ	日本の企業統治(コーポレート・ガバナンス)
講義内容	会社を支配するのは誰か、会社は誰のために経営されるのか、業績が悪化した会社をどのように立て直すのか、といったことがコーポレート・ガバナンスの課題となる。これまで日本企業は、株主重視ではなく、従業員重視のコーポレート・ガバナンスであるとみなされてきた。しかし、日本企業の業績悪化、外国人投資家の増大、敵対的企業買収の圧力などによって、日本のコーポレート・ガバナンスは大きく変化しつつある。この実態と現在の問題、および将来の方向について講義する。

講師	経済学部 准教授 飯沼健子
時間割	2 時限
教室	10 号館 2 階 10202 教室
テーマ	男性と女性の経済学
講義内容	「男らしさ」「女らしさ」と「経済」が関係しているって信じられますか。でも男性が就く職業をあげて下さいというと、警察官、消防士、パイロット...と簡単にあげられるでしょう。女性が携わる職業はというと、看護師、保育士、秘書...と続くでしょう。世界の就労者の半数は男性らしい職業、女性らしい職業といった性別上典型的な仕事に就いています。経済問題を男性・女性という視点から考え直すと、実は重要な問題が見えてきます。

商学・会計学

講師	商学部 教授 見目洋子
時間割	1・2 時限
教室	10 号館 2 階 10203 教室
テーマ	商品開発の魅力 消費者の心をつかんだヒット商品物語
講義内容	あなたは、どんなヒット商品を知っていますか。たとえば、オモチャ雑貨の「たまごっち」(携帯電子ペット)はすごい大ヒット商品でした。こうしたヒット商品は、大人気となった後、1年～2年で消える商品もあれば、一方、長い年月、市場に生き残り「ロングセラー商品」となるものもあります。そして、その商品を見ると、必ず、素晴らしい技術があることも分かります。ヒット商品の開発秘話をお話します。

講師	商学部 准教授 小林守
時間割	1・2 時限
教室	10 号館 2 階 10215 教室
テーマ	国際化時代における私たちの職場と働き方
講義内容	企業等の活動の場が世界規模・地球規模で広がっています。このことに伴って私たちの職場・同僚も日本および日本人とは限らなくなっていますし、コミュニケーションも日本語や日本的な意味の伝え方では十分ではなくなっています。講義では私たちの今後の企業等における働き方がどうなり、私たちが何を身につければよいのか、について話します。

講師	商学部 教授 菱山淳
時間割	1・2 時限
教室	10 号館 2 階 10214 教室
テーマ	「会計」を学ぶと何ができるのか
講義内容	高校生のみなさんは「会計」と聞いて何を思い浮かべますか？コンビニやレストランでお金を払うことを「お会計をする」といいますが、大学で学ぶ会計学は、この「お会計をする」ということとはまったく異なります。体験授業では、「大学で学ぶ会計学とは一体何なのか？」「会計学を学ぶと何ができるようになるのか？」「会計学は社会でどのように役立っているのか？」ということについて、わかりやすく講義しようと思います。

経営学

講師	経営学部 准教授 宇佐美嘉弘
時間割	1 時限
教室	10 号館 2 階 10213 教室
テーマ	儲ける可能性を増やす科学、損する可能性を減らす科学
講義内容	不確実な市場経済の中で、企業はその価値を高めようと努力しています。事業のリターン(収益)が高ければ、企業価値は高くなりますが、価値は不変ではありません。価値が変動することをリスクがあると言います。テーマを「儲けを増やす科学、損を減らす科学」とせず、「可能性」を付けました。確実に大儲けできれば、誰も他人に教えないでしょう。不確実な状況で、過去のデータに基づいて意志決定するための考え方の例を話します。

講師	経営学部 准教授 倉持俊弥
時間割	1 時限
教室	10 号館 2 階 10212 教室
テーマ	経済学の考え方:為替レートの例
講義内容	各国通貨の交換比率である為替レートは日々変動しています。今年の3月には、12年ぶりに1米ドルが90円台になり、関心の度が一気に高まりました。為替レートの変化は私たちの生活にどのような影響を及ぼすのでしょうか。また、そもそも現状は円高なのか円安なのか、それとも適正な水準にあるのか、どのように判断しますか。ひとつの考え方を紹介してみたいと思います。

講師	経営学部 講師 佐藤康一郎
時間割	1 時限
教室	10 号館 2 階 10211 教室
テーマ	アイスから考えるマーケティング
講義内容	作ったり、売ったりする製品がすべて計画通りに販売できれば、生産計画や販売計画が立案しやすく、安定した収益が期待できます。しかし、需要と供給のバランスが崩れて、売れすぎたり、売れ残ったりするのが現実です。このようなことを避けるために作り手や売り手は需要を調整する必要があります。この需要を調整することはマーケティングの重要な機能の一つです。これから益々暑くなってきますが、氷菓(アイスなど)を例にこのことを考えてみましょう。

経営学

講師	経営学部 准教授 福原康司
時間割	2 時限
教室	10 号館 2 階 10213 教室
テーマ	組織って、おもしろい
講義内容	家族やクラスなど、周囲を見渡すと私たちは何らかの形で組織とかかわりを持って生きています。身近な組織なのに、「では組織とは一体どのようなものですか？」と改めて聞かれると、案外その答えに困るでしょう。また、組織の中で生きている以上、食事のメニューや交際相手を選ぶ時、周りの人達から多くの影響を受けながら決定が行われているはずです。この授業では、こうした組織や意思決定の仕組みについてお話したいと思います。

講師	経営学部 准教授 坂口幸雄
時間割	2 時限
教室	10 号館 2 階 10212 教室
テーマ	経営におけるプロデューサー感覚の大切さ
講義内容	プロデューサーは特定の業種のアコガれの職業ではなく、多くの人がプロデューサーとして行動しています。ただし、それは、受身ではなく、能動的に動いているときに言えます。何か夢中になれるものを行おうとすると、あるいは、今の自分というものに意味づけをしようとするとき、プロデューサーのような発想を取り入れてみるとよいと思います。一体、これらのメッセージはどういう意味でしょうか。この授業で考えていきましょう。

法学・政治学

講師	法学部 准教授 須加憲子
時間割	1・2 時限
教室	10 号館 2 階 10210 教室
テーマ	身近なトラブルに役立つ民法の基礎知識
講義内容	大学に入ったら、一人暮らしを始めるために、閑静な住宅街に部屋を借りる人も多いでしょう。このとき、近所に騒々しいディスカウントストアなどが建ったらどうでしょうか。また、友達にプレゼントを贈る約束をして、すっかり忘れていたところ、プレゼントを渡せと請求されてしまいました。このような場合、我々はどうすれば良いのでしょうか。この講義では、民法の対処の仕方を皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

法学・政治学

講師	法学部 教授 藤本一美
時間割	1・2 時限
教室	10 号館 2 階 10209 教室
テーマ	米国の大統領選挙
講義内容	この講義では、＜米国の大統領選挙＞について、以下の順に従って説明する。 米国の大統領制度の＜沿革＞ 米国の大統領の＜権限＞と＜地位＞ 米国の大統領の＜選出方法＞ 1960年の大統領選挙の特色 2000年の大統領選挙の特色 2008年の大統領選挙の行方

情報学

講師	ネットワーク情報学部 教授 田中稔
時間割	1 時限
教室	9 号館 4 階 端末室 D
テーマ	コンピュータで数学を体験してみよう
講義内容	世界中でもっとも広く使われている数式処理システムのコンピュータソフトに Mathematica (マセマティカ)がある。特に 3D グラフィクス機能、アニメーション、サウンド機能などが充実してる。使われている領域は、数学、物理、工学に留まらず、経済・金融、各種デザインなど多岐にわたっている。ここでは、Mathematica の使い方や初歩のプログラミング言語を習い、その豊富な機能を体験する。

講師	ネットワーク情報学部 教授 綿貫理明
時間割	1 時限
教室	9 号館 4 階 端末室 C
テーマ	情報技術と環境問題
講義内容	昨年は、埼玉県熊谷市と岐阜県多治見市で 74 年ぶりに日本の最高気温が 40.9 度に更新された。また長年地球温暖化の危機を世界に訴え続けたアメリカ前副大統領のアル・ゴア氏が気候変動に関する政府間パネルと共同でノーベル平和賞を受賞した。温暖化を最重要課題として、今年日本で洞爺湖サミットが開催される。情報技術により地球温暖化の危機をどのように社会へ訴えるか考える。

情報学

講師	ネットワーク情報学部 教授 福富忠和
時間割	2 時限
教室	10 号館 2 階 10211 教室
テーマ	ネット・ケータイ時代のセカイとココロ
講義内容	インターネットや携帯電話が普及しているこの時代に登場してきた、映画、小説、ドラマ、マンガ、アニメなどのポップカルチャーのコンテンツを通して、私たちが自分たちの社会、世界、心をどのように受け止めているかを考えます。コンテンツの表現、ストーリーから、さまざまな機器の利用方法、コミュニケーションの形など、そこに、私たちを取り巻くさまざまな複合的な要因が関連していることが見えてきます。

講師	ネットワーク情報学部 教授 綿貫理明
時間割	2 時限
教室	9 号館 4 階 端末室 C
テーマ	プロジェクト みんなで対策地球温暖化(Stop Global Warming)
講義内容	地球温暖化に関する意識調査 3Dグラフィックスによる地球温暖化物語 グーグルマップへ意見の投稿

日本語・日本文学

講師	文学部 教授 林義雄
時間割	1 時限
教室	10 号館 2 階 10208 教室
テーマ	中世の「謎」を解く
講義内容	中世には多くの「なぞ」が作られていて、それらの「なぞ」の中には、中世日本語資料として興味深いものも少なからず見られる。この講義では、そのような「なぞ」を集めた文献の一つにあたる、天理図書館所蔵の「謎の本」の中からいくつかの「なぞ」を選んで、その謎解きを行いながら、それぞれの謎の背後にひそむ語学的な問題について、日本語学の立場から考察を加えることにしたい。

日本語・日本文学

講師	文学部 教授 小山利彦
時間割	2 時限
教室	10 号館 2 階 10208 教室
テーマ	源氏物語千年紀への誘い ^{いざな}
講義内容	2008年は源氏物語千年紀にあたり、様々の催しが計画されています。新年には東京国立博物館で「宮廷のみやび」展が開催されました。これは王朝第一の撰関藤原道長を祖とする名家、近衛家の文庫に秘蔵される文化財を公開しているものです。NHKの新春番組としても一部が放映されました。専修大学でも四月には「源氏物語千年紀への誘い」という催しを行いました。本学所蔵の源氏関係の古写本などを紹介・展示しています。また私事ではパソコンを使って、イタリアのベネチア大学と「平安京と王朝文学」というテーマの講義を行っています。

外国語・外国文学

講師	文学部 准教授 フリックマン, ジェフリー C.
時間割	1・2 時限
教室	10 号館 2 階 10207 教室
テーマ	Practical Solutions for Pronunciation Problems 「英語発音の問題と解決法 - なんて通じないの? -」
講義内容	In this class I will look at several common pronunciation problems that Japanese learners of English share, give some explanation as to why they occur, and then introduce some practical solutions for correcting the problems. この体験授業では、日本人英語学習者に共通する英語発音の問題をとりあげます。問題の原因を探り、どのようにしたら発音の問題を解決することができるのかを一緒に考えて行こうと思います。

哲学・心理学

講師	文学部 教授 乾吉佑
時間割	1 時限
教室	10 号館 2 階 10206 教室
テーマ	無意識のこころ 臨床心理学の探究
講義内容	私たちの心は、いつもはつらつと朗らかで健康にいたいと思いますが、決してそうではありません。口惜しくて居ても立ってもおれないとか、苛立ちを抑えられず怒りに任せたくもなります。その反面相手を思いやり、細やかでやさしく親切な気持や明るく楽しい気分にもなります。時に心が不調となって、日常生活に支障が生じることもあります。このように私たちの心は不可思議です。この心の世界を臨床心理学の観点から探求してみましよう。

哲学・心理学

講師	文学部 教授 貫成人
時間割	2 時限
教室	10 号館 2 階 10206 教室
テーマ	映画『マトリックス』と近代主体性概念：デカルト・フーコー・サルトル
講義内容	映画『マトリックス』は人間のあり方について多くの示唆を与える。多少「ネタバレ」になるが、普通に暮らしていた自分が、実はまったく異なるあり方をしていたことが判明するシーンは、デカルトの「われ思う、ゆえに我あり」を思わせる。そのあり方そのものは、フーコーが考える「近代的市民」そのものだ。さらにそこから脱出しようとする主人公はサルトル的賭けにでていいる。近代主体性概念の三類型を映画から読み取ろう。

講師	文学部 准教授 中沢仁
時間割	2 時限
教室	10 号館 2 階 10205 教室
テーマ	知覚心理学が明かす心のはたらき
講義内容	<p>外界から情報を得る心のはたらきを「知覚」という。このはたらきによって得た情報を使って自覚しながら行動しているのだ、と私たちは思っている。</p> <p>しかし、知覚のはたらきの研究によって、私たちは自分の行動の本当の理由を知ることができないのかもしれないということがわかってきた。</p> <p>私たちのものであるはずの「心」。本人に尋ねることができないとしたら、一体どうやって調べればよいのか？そもそも心のはたらきとは？</p>

歴史学・地理学

講師	文学部 教授 土生田純之
時間割	1 時限
教室	10 号館 2 階 10205 教室
テーマ	卑弥呼の鏡
講義内容	邪馬台国の女王卑弥呼が魏の皇帝から賜った「銅鏡」とは何なのか。三角縁神獸鏡という特殊な鏡があるが、もしこれが卑弥呼の鏡であれば、邪馬台国は大和に所在したことになる。本当にそうだろうか。そもそも鏡にはどのような意味があるのか。邪馬台国の所在地のみにとらわれない、鏡の意味、そして卑弥呼が魏に使者を送った理由を考えてみよう。

歴史学・地理学

講師	文学部 准教授 荻谷愛彦
時間割	2 時限
教室	10 号館 2 階 10204 教室
テーマ	地球温暖化時代の自然災害
講義内容	未来を生きる皆さんにとって、地球温暖化は避けて通れそうもない環境問題です。農作物の収量増加など温暖化による恵みも期待できますが、むしろ地球のあちこちで自然災害が今より頻発すると予想されます。すでに起こりつつある氷河・永久凍土の融解、高潮や海岸浸食、洪水や山崩れ、そして沙漠化……。この授業ではそれらの実態を知り、地球の将来や私たちのとるべき道を考えてみましょう。

社会学・文化人類学

講師	文学部 准教授 秋吉美都
時間割	1 時限
教室	10 号館 2 階 10204 教室
テーマ	心と感情の社会学 喜びや悲しみはどこから生まれるのか
講義内容	私たちは生活の中でさまざまな感情を経験します。私たちは一人で喜怒哀楽を経験するだけではなく、家族や友人といろいろな思いをわかちあって生きています。さまざまな感情の経験は人間のもっとも人間らしい特徴でしょう。この授業では、最新の社会学的研究の成果をもとに、感情が社会生活の中でどのように生まれ、どのように経験されているのか考えてみたいと思います。喜びや悲しみといった、だれもが経験する感情を対象として、社会学という分野の基本的な考え方や研究の方法をご紹介します。

教養：外国語

講師	法学部 准教授 前川亨
時間割	3 時限
教室	10 号館 2 階 10204 教室
テーマ	中国語ってどんな言葉？ 「日本と中国」を考えるために
講義内容	外国語って難しい。その難しさを体験すること自体が貴重なのだ。外国語を学ぶことは、自分が「外国人」になる体験をすることだ。それは「日本」と「日本語」を反省してみる機会にもなる。日本人にとって中国語はとりわけ興味深い言語である。中国語の不思議な世界に触れながら、日本と中国との深い関係を考えてみよう。

教養：自然科学

講師	経営学部 教授 増子恵一
時間割	3 時限
教室	10 号館 2 階 10215 教室
テーマ	動物の行動・ヒトの行動
講義内容	人間は困った時に頭を掻くことがあるが、それはなぜだろう。ヒト以外の動物でも、困惑した状態で体の手入れをする行動(グルーミングという)を行うことが知られている。昆虫にさえ、この行動が知られている。きっと昆虫から魚、鳥、哺乳類、そしてヒトに至るまで、動物の行動のメカニズムに共通点があるからだろう。異なる生物が示す共通性を理解する鍵は「進化」である。この授業では動物の行動と進化の関係を平易に紹介する。

教養：哲学

講師	商学部 教授 伊吹克己
時間割	3 時限
教室	9 号館図書館AVルーム
テーマ	音楽をテツガクする - 音楽からの哲学入門 -
講義内容	< 音楽の哲学 > という言い方をすると、「えっ」と思う人もいるでしょう。音楽は感性の芸術ですが、哲学は知性による考察です。哲学はリクツですが、音楽はリクツ抜きに楽しめるものです。でも、それは同じ人間の営みです。この授業では、この問題を取り上げて哲学入門とします。それにしても、まず音楽が君たちの中で鳴っていなければ、< 音楽の哲学 > は単なるリクツで終わってしまいます。出発点は、「すべての音楽は雑音である」ということです。そこからこの授業が始まります。